

2026年8月7日

各 位

会 社 名 **株式会社 イチケン**
代 表 者 名 代表取締役社長 政清 弘晃
(コード番号 1847 東証スタンダード)
問 合 せ 先 財務経理部長 高垣 健太郎
(TEL. 03-5931-5642)

2027年3月期第2四半期（中間期）業績予想及び同通期業績予想並びに配当予想の修正
に関するお知らせ

最近の業績動向を踏まえ、本日開催の取締役会において、2026年5月18日に公表しました2027年3月期第2四半期（中間期）業績予想及び同通期業績予想並びに配当予想を修正いたしましたのでお知らせいたします。

記

1. 2027年3月期第2四半期（中間期）連結業績予想数値の修正（2026年4月1日～2026年9月30日）

	売上高	営業利益	経常利益	親会社株主に 帰属する 中間純利益	1株当たり 中間純利益
前回発表予想（A） (2026年5月18日発表)	百万円 54,000	百万円 4,600	百万円 4,550	百万円 3,000	円 銭 206.66
今回修正予想（B）	57,000	7,600	7,600	5,100	351.31
増 減 額（B-A）	3,000	3,000	3,050	2,100	
増 減 率（%）	5.6	65.2	67.0	70.0	
（ご参考）前第2四半期実績 (2026年3月期 第2四半期)	49,188	3,728	3,726	2,524	173.87

（参考）

2027年3月期第2四半期（中間期）個別業績予想数値の修正（2026年4月1日～2026年9月30日）

	売上高	営業利益	経常利益	中間純利益	1株当たり 中間純利益
前回発表予想（A） (2026年5月18日発表)	百万円 52,000	百万円 4,400	百万円 4,450	百万円 3,000	円 銭 206.66
今回修正予想（B）	55,000	7,400	7,500	5,100	351.31
増 減 額（B-A）	3,000	3,000	3,050	2,100	
増 減 率（%）	5.8	68.2	68.5	70.0	
（ご参考）前第2四半期実績 (2026年3月期 第2四半期)	47,179	3,443	3,534	2,448	168.66

※2026年4月1日付で普通株式1株につき2株の割合で株式分割を行っております。前第2四半期実績における「1株当たり中間純利益」については、当該株式分割の影響を考慮して記載しております。

2. 2027年3月期通期連結業績予想数値の修正（2026年4月1日～2027年3月31日）

	売上高	営業利益	経常利益	親会社株主に 帰属する 当期純利益	1株当たり 当期純利益
前回発表予想（A） （2026年5月18日発表）	百万円 108,000	百万円 8,500	百万円 8,400	百万円 5,600	円 銭 385.76
今回修正予想（B）	110,000	11,000	10,900	7,300	502.86
増 減 額（B-A）	2,000	2,500	2,500	1,700	
増 減 率（%）	1.9	29.4	29.8	30.4	
（ご参考）前期実績 （2026年3月期）	106,176	9,033	8,954	6,408	441.40

（参考）

2027年3月期通期個別業績予想数値の修正（2026年4月1日～2027年3月31日）

	売上高	営業利益	経常利益	当期純利益	1株当たり 当期純利益
前回発表予想（A） （2026年5月18日発表）	百万円 104,000	百万円 8,000	百万円 8,000	百万円 5,430	円 銭 374.05
今回修正予想（B）	106,000	10,500	10,500	7,200	495.97
増 減 額（B-A）	2,000	2,500	2,500	1,770	
増 減 率（%）	1.9	31.3	31.3	32.6	
（ご参考）前期実績 （2026年3月期）	101,830	8,549	8,559	6,220	428.51

※2026年4月1日付で普通株式1株につき2株の割合で株式分割を行っております。前期実績における「1株当たり当期純利益」については、当該株式分割の影響を考慮して記載しております。

3. 業績予想修正の理由

（1）第2四半期（中間期）

建設事業の売上高につきましては、工事が順調に進捗していることから、前回予想から増加する見込みであります。

利益につきましては、生産性・採算性を重視した受注に取り組んでいること、また資材価格や労務費の転嫁が進んだことによる工事採算性の改善に加え、第1四半期においては、複数の大型案件の完成に際して追加発注による増加利益が生じたこと等により、完成工事総利益が当初予想よりも増加する見込みであります。

また、不動産事業につきましては、本日公表の「販売用不動産の売却に関するお知らせ」に記載の通り、前回予想に織り込んでいました売却予定価額が予想を上回る見通しとなりました。

以上から、売上高、営業利益、経常利益及び中間純利益が前回予想を上回る見込みであります。

（2）通期

通期の業績予想につきましては、第2四半期（中間期）までの業績動向を踏まえ、売上高、営業利益、経常利益及び当期純利益は、それぞれ前回予想を上回る見込みであります。

4. 配当予想の修正

	年 間 配 当 金		
	第 2 四半期末	期 末	合 計
前 回 予 想 (2026 年 5 月 18 日発表)	35 円 00 銭 (普通配当 35 円 00 銭)	90 円 00 銭 (普通配当 90 円 00 銭)	125 円 00 銭 (普通配当 125 円 00 銭)
今 回 修 正 予 想	<u>65 円 00 銭</u> (普通配当 40 円 00 銭) (特別配当 25 円 00 銭)	<u>115 円 00 銭</u> (普通配当 115 円 00 銭) —	<u>180 円 00 銭</u> (普通配当 155 円 00 銭) (特別配当 25 円 00 銭)
当 期 実 績	—	—	—
(ご参考) 前期実績 (2026 年 3 月期)	65 円 00 銭 (普通配当 65 円 00 銭)	165 円 00 銭 (普通配当 165 円 00 銭)	230 円 00 銭 (普通配当 230 円 00 銭)

※2026年4月1日付で普通株式1株につき2株の割合で株式分割を行っております。前期実績における配当金については、当該株式分割前の実際の配当金の額を記載しております。

5. 配当予想修正の理由

当社は、事業の成長・拡大及び財務基盤の安定化による企業価値の向上と、株主様への直接的な利益還元である配当の安定的な実施に重点を置き、利益配分につきましては、今後の成長・拡大に備えた内部留保の充実を考慮して決定することを株主還元の基本方針としております。

2027年3月期第2四半期末及び2027年3月期期末の1株当たりの配当予想につきましては、今回の業績予想修正並びに今後の動向等を総合的に勘案し、普通配当として前回予想から2027年3月期第2四半期末では5円、2027年3月期期末では25円、合計で30円の増配を実施する予定であります。

また、不動産事業（販売用不動産の売却）の利益が増加していることを踏まえて、2027年3月期の第2四半期末において、1株当たり25円の特別配当を実施する予定であります。

これにより、第2四半期末では65円（30円増配）、期末では115円（25円増配）、年間合計180円（55円増配、うち特別配当25円）とする配当予想へ修正をいたします。

（注）上記に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。

以上